

まるおかしょうあと 2 丸岡城跡

所在地：坂井市丸岡町霞 1 丁目 59 番地

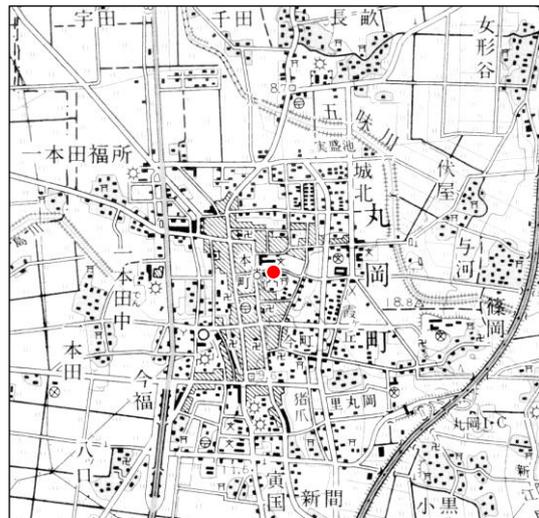
調査原因：丸岡城周辺整備事業

調査期間：令和 4 年 11 月～12 月

調査主体：坂井市産業政策部観光交流課

調査面積：230 m²

時代：近世～近代



位置図 (S=1/50,000)

遺跡について 丸岡城は坂井平野の独立丘を中心に縄張りされた平山城です。北陸で唯一現存する天守は、重要文化財に指定されています。現在内堀をはじめ主要な曲輪は市街化が進んでおり、外堀の一部は今も水路として利用されています。

調査は平章小学校のグラウンドの南側、二の丸御殿があった曲輪と隠居曲輪の間にあたる場所です。

主な遺構 調査では、調査地の南から北にかけて、10～30cm 程度の石を敷き詰めた範囲を検出しました。石を敷き詰めた範囲は、南から北に向かって伸びています。江戸時代の絵図では、この場所は二の丸と隠居曲輪の境界にあたる石垣と土塁が描かれています。検出した遺構はこれら構造物を造るための基礎工事（地業）と考えられます。

調査では南北に延びる溝を検出していますが、地業の一部を壊して掘られていることから、廃城後に掘られたものと推定されます。

まとめ 平成 26 年には、今回調査した場所から西の場所で調査をしています。その結果、石垣と土塁の跡などを検出しています。過去の調査成果と今回調査で検出した地業の跡から推定される石垣と土塁の位置は、絵図に書き込まれていた寸法とほぼ一致します。絵図の内容が信用できるもので、遺構も絵図のとおりに残っている可能性が高いと考えられ、今後の調査が期待されます。 (堤 徹也)



図1 「正保城絵図」のうち、「越前国丸岡城の絵図」
【国立公文書館蔵】



写真1 調査地南側



写真2 調査地北側



図2 調査地平面図